

【高等学校用】

令和4年度学校評価 計画

達成度(評価)	
A	: 十分達成できている
B	: おおむね達成できている
C	: やや不十分である
D	: 不十分である

<p>学校名 佐賀県立佐賀東高等学校</p>	
1 前年度 評価結果の概要	<p>・本校の課題は「入試倍率」「希望する進路実現」「部活動成績や生徒会活動、学校教育活動の広報」であり、さらに高みを目指した教育実践を行い、「唯一無二の学校づくり」を推進し、5年後・10年後の佐賀東高校を創造することである。</p> <p>・学習用パソコンや電子黒板を利用し、アクティブラーニング(主体的・対話的で深い学び)を実践しながら、生徒自らが学ぶ意欲を高め、学力向上と人間力アップの取組みを進めている。学校評価アンケートにおいては、各項目において概ね高い評価をいただいた。また、地域行事に関しては、生徒会(運動部・文化部)が主体的かつ積極的にボランティアとして参加し、地域に貢献している。</p> <p>・働き方改革の推進として、長時間労働の縮減や部活動指導のあり方、学校行事や教職員の事務的作業の効率化、また、それらの検討・見直しに取り組んだが、期待通りの成果は得られていない。次年度の課題でもある。</p>
2 学校教育目標	<p>校訓「使命に生きる」「自主自律を尊ぶ」「明朗清新を喜ぶ」の精神のもと、生徒の目的意識を高め、保護者・地域から厚い信頼を得ることができる教育を目指す。</p> <p>ア 使命に生きる…学校・社会・人生において自らに課せられた役割を見出し、志を立て、それらを現実のものにすることができる資質を養う。</p> <p>イ 自主自律を尊ぶ…自分が負える責任を正しく理解し、正しい判断のできる能力を育成したうえで、自ずからなる節度を持ち、自由の重みに耐えうる人間となることを大切にす。</p> <p>ウ 明朗清新を喜ぶ…誰とでも公平公正な態度で向かい合い、明るく豊かで活力的な、心身ともに健康な成長を選択することを旨とする。</p>
3 本年度の重点目標	<p>唯一無二の誇り高き佐賀東高校の教育実践</p> <p>○「やる気」をのびる佐賀東 … 部活動で全国を目指したい気持ち、勉強を頑張って進路目標(進学・就職)を達成したいという「やる気」を伸ばします。</p> <p>○「多様な人材」を育てる佐賀東 … 互いを尊重し、時代の流れをつかみ取り、自分らしく生き抜いていく人間力をつける教育活動を実践します。</p> <p>○「地域」に応える佐賀東 … 地域を愛し、地域の課題を発見し、地域の人たちと協力しながら、佐賀で全国で活躍する人材を育てます。</p>

4 重点取組内容・成果指標	中間評価	5 最終評価	
---------------	------	--------	--

(1)共通評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
●学力の向上	○生徒一人一人に明確な希望進路を持たせ、それぞれの進路実現に向けた取り組み	○進路希望調査における「未定」率が3年生0%、2年生30%未満、1年生50%未満。 ○3年生の希望進路実現率90%以上。	・各種ガイダンス等を通じて、生徒一人ひとりの自己理解を深めさせる。 ・模擬試験等を活用して自己の現状と目標との距離を意識させる。							進路指導部
	○基礎学力の定着	○1年1学期終了までに、国語、数学、英語における中学校卒業程度以上の学力保持を確認する。 ○授業アンケート(授業を受けて、知識や技能が身についたと感じている。)項目の「そう思う/とても思う」の回答80%以上にする。	・Classを活用して、生徒一人ひとりのペースで中学校の学習内容の学び直しをさせ、定期的なその進捗状況を確認する。 ・学期に1回以上の研究授業・授業研究会を実施し、生徒のニーズ・進路実現の観点を意識した授業改善を図る。							教務部
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動	○特別指導件数5件以内を目標とする。	・指導カードを通し心の乱れの早期感知を行い必要な心の教育を早期に行う。 ・「いいねカード」の内容を生徒へ伝え他者への思いやりのある学校の雰囲気形成する。							生徒指導部
	●担任・学年と連携を図り、困難を抱えている生徒の早期発見、早期対応を目指す ●社会で自立した生活ができるように支援する。	○年に1回、職員研修を行い、共通理解を図る。 ○週に1回、教育相談部会を行い、学年・会・保護会からの情報を関係職員と共有する。必要であれば、ケース会議を行う。	・サポートルームの運営を行い、登校・授業復帰をサポートする。 ・SCの利用を促進し、配慮が必要な生徒に個別の支援計画を立て、三者面談を行う。 ・学校生活アンケート、心理検査を行う。							保健部(教育相談)
●健康・体づくり	○佐賀を誇りに思う教育の推進	○佐賀県を題材にした本校演劇部の校内公演によって、生徒が佐賀県の良さを身近に感じ再発見しやすくする。 ○3年次調査する「将来佐賀県に残って働きたい」の割合を80%以上にする。	・佐賀県を題材にした演目を本校演劇部で公演することに加えて、講話を入れる。 ・佐賀県教育委員会配布のDVDを活用し、佐賀の良いところをわかりやすく生徒に伝える。 ・1年次に総合的な探求の時間を設けて、佐賀の良いところについて発表会を行う。							図書研修部
	「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」	「健康に食事は大切である」と考える生徒95%以上、朝食の喫食率90%以上を目標とする。	・家庭、保健の授業で「食育と健康」について考えさせる。 ・食育アンケートを実施し、状況に応じ「保健だより」を積極的に発行する。							保健部
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	○安全に関する資質・能力の育成	○生徒の交通事故ゼロを達成する。	・自転車点検を行い、車両運転者としての安全意識を高めさせる。 ・交通講話を行い危険予知能力を高め交通ルールを遵守する資質を育成する。							生徒指導部
	●業務効率化の推進と時間外勤務時間の削減	●時間外在校等時間の上限を遵守する。定時退勤日の設定や職員朝礼は隔日(月水金)開催、会議終了時刻を明示するなど業務削減を推進する。年間として月平均450超超過者を10人以下にする。また、年間休取得日数14日を目指す。	・定時退勤日(月)推進日(金)と学校開庁日の設定するなど、勤務体制の整備を行う。 ・部活動休業日と年休取得を積極的に推進する。 ・業務削減(縮小)を具体的に示し、教職員の労働環境整備に努める。							管理職

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目				中間評価		最終評価		学校関係者評価		主な担当者
評価項目	重点取組内容	成果指標(数値目標)	具体的取組	進捗度(評価)	進捗状況と見通し	達成度(評価)	実施結果	評価	意見や提言	
○学校情報の発信	○主に県内外の中学生、保護者や外部を対象とした「唯一無二の誇り高き佐賀東高校」の積極的な情報発信	○学校新聞「飛翔」の月1回以上の発行する。また、学校紹介動画、学校案内パンフを充実させ、受検者数を前年度以上に増やす。	・ドローン映像とVRコードを活用した動画の配信や学校マスコットキャラクターのアイデアを募集し、作成する。地域や県土の進捗等の広報も担い、地域との連携を強化する。							広報部
★唯一無二の誇り高き学校づくり	○地域への貢献活動(ボランティア) ○主体的に取り組む生徒会 ○佐賀東版「SDGs」の推進	○1年間で奉仕活動に参加したことのある生徒を80%以上 ○生徒会活動に関するアンケートを実施し、「主体的に参加できた」の回答80%以上。 ○「佐賀東SDGs宣言」の重点目標を理解し、「しっかりと取り組めた/だいたい取り組めた」の回答90%以上。	・各学年団と協力し、生徒への参加を促す。また、部活動単位でも参加していただくよう、顧問との連携を行う。 ・全校生徒が生徒会の一員であるという自覚をもたせ、役員中心に様々な活動を行う。 ・重点目標を4つに絞り、教室掲示や担任を通じて、常に意識づけを行う。							生徒会

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

5 総合評価・次年度への展望	
----------------	--